

市測協の「平成30年新年賀詞交歓会」、「平成29年度経営者研修会」開く
関係者約110人が新年に向けて、市民の安全安心を守り、技術向上と飛躍を誓う



会員ら関係者約110人が出席して盛大に開かれた平成30年新年賀詞交換会



主催者挨拶の尾川会長

(一社)福岡市設計測量業協会(尾川昇会長)の「平成30年新年賀詞交歓会」・「平成29年度経営者研修会」は19日、福岡市のグランド・ハイアット・福岡で開き、会員及び賛助会員、来賓として福岡市の中園政直副市長や幹部職員、国交省国土地理院九州方測量部の齊藤勘一測量部長、顧問団の福岡市議会議員、関係団体長ら関係者約110人が出席し、新たな年に向けて協会の更なる発展と会員企業の繁栄飛躍を誓い合った。

交歓会は、船津事務局長の司会で進行。主催者挨拶に立った尾川会長(都市企画センター株)は「昨年7月に九州北部豪雨があり、朝倉市を中心に山林流木や土砂流失などで甚大な被害が発生しました。今回の災害支援では、当協会もさっそく朝倉市に赴き、災害査定のお手伝いをさせていただきようお願いします、微力ながら参加させていただきました。参加業者は延べ40社で、会員の皆様の協力によって、地元の方々や関係公共団体にも確かなPRになったのではないかと考えています。また、昨年も引き続き、福岡市の担当部局と意見交換を行い、地元企業の棲み分け、会員のアドバンテージアップのための社会貢献活動、技術向上のために市役所の若手職員との合同セミナー開催など、建設的な意見交換の場となっています。当協会は福岡市民の安全・安心の暮ら

しを守り、福岡市の目指すアジアのリーダー都市構築のために、技術の向上を図るとともに、まちづくり推進に協力していきたい」などと述べた。



挨拶の中国副市長

このあと、福岡市の幹部職員の来賓紹介があり、中園副市長は、公共工事を通してボランティア活動、道路危険個所の調査、九州北部豪雨災害への積極的参加など、市民の安全・安心の取組みに感謝し、福岡市が日本一元気な都市であるとして「皆様の素晴らしいお仕事と地域貢献等の賜物だと思っています。この福岡市の活力を次世代に引き継ぎ、持続ある発展をめざし、ウォーターフロントの開発、天神ビッグワン、九州大学跡地など一層盛り上げていきたい」などと述べ、市民アンケートに基づく“一人一花、一企業一花壇”

の提唱、まちづくりへの協力をお願いした。

来賓挨拶では、国交省国土地理院九州地方測量部の齊藤勤一部長が第3期の地理空間情報活用推進基本計画についてふれたあと「当協会では測量の日の記念イベントとして“あそこまでなんぼ”という測量を身近に感じてもらう取組みをされていますが、国土地理院も測量技術とその成果を基に地理空間情報が生産活動や警察活動などいろいろな場面で使われていることを皆様と連携して伝えていきたい」。



来賓紹介の福岡市幹部職員

（公益）日本測量協会九州支部の上床隆彦支部長は「前職が福岡国土建設専門学校の校長、昨年5月に日測協の九州支部長となり、昨年10月の技術講習会では九州支部もバックアップということで CPD のお手伝いをさせていただきました。今後とも両協会が深い関係でお付き合いができるよう微力ながら努力していきたい」などと述べた。



来賓祝辞の測量部長



挨拶の上床支部長

続いて、協会顧問団の福岡市議会議員4人の紹介があり、代表して国分徳彦団長が「一人一花運動、これにぜひご協力を頂きたい。一つの団体がこの花運動をやることによって一花咲かせよう運動に、私たちがやらなければ市も動いてくれない。どうか一年、皆さんと共に花運動をやって市に認めて頂ける団体になろうではありませんか」などと挨拶。今林ひであき顧問幹事長の乾杯の発声で開宴、和やかに歓談した。



福岡市議団と挨拶の国分市議

なお、当日は賀詞交歓会に先立ち「平成29年度経営者研修会」も開催され、(株)産業経済新聞社の佐々木類九州総局長が「安部政権の展望と課題についてⅡ」と題し講演。日本の防衛問題や中国、韓国、北朝鮮などアジアにおける外交のあり方などについて講話した。

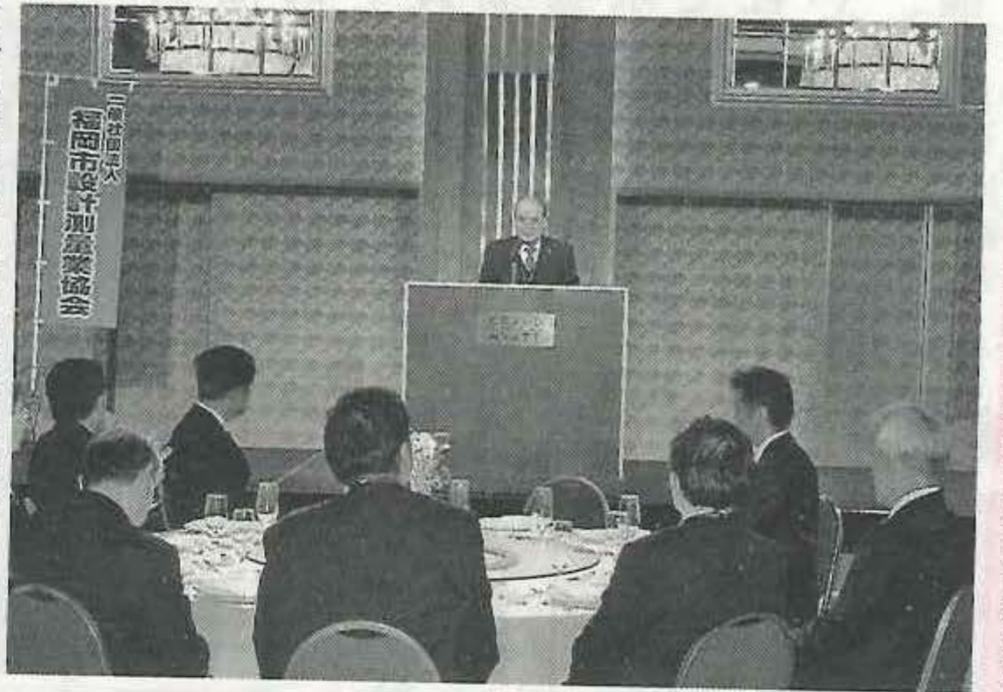


平成29年度経営者研修会

30.1.26 建設ナビより抜粋

新年賀詞交歓会開く

福岡市設計測量業協会



協会として、福岡市民の安全・安心な暮らしを守るために技術の向上を図り、福岡市と連携して街づくりの推進に貢献していきたい」と挨拶。

来賓挨拶では、福岡市の中園副市長が「昨年実施した意識調査において、福岡市は住みやすいと感じる割合が96%、今後も住み続けたいと回答した割合が93%と驚異的な数字を記録した。この数字は皆様の素晴らしい仕事と社会貢献活動の賜物だと思う。福岡市としても、都市の活力を途切れさせることなく、次世代に引き継ぎ持続ある発展を目指していく。協会においては、朝倉市の災害支援活動の際に多大なる貢献を頂いたと聞いている。安全・安心な国土形成には設計測量の技術は不可欠。これからも共に技術の研鑽に努め、福岡市を魅力ある街にしていこう」と呼びかけた。

名古屋泰之理事、国土地理院九州地方測量部の齋藤勘一郎長、福岡市議会議員らが出席したほか、会員及びメーカー関係者約100人が参加した。

(一社)福岡市設計測量業協会(尾川昇会長)は23日、平成30年新年賀詞交歓会「写真」を福岡市博多区のグランドハイアット福岡で開催。参加した会員らは、飲酒運転撲滅運動や災害支援など社会貢献活動を通じて業界をPRするとともに、福岡市と連携して安全・安心な街づくりに努めることを誓った。

賀詞交歓会には、来賓として福岡市の中園政直副市長、福岡市財政局の

冒頭、尾川会長は「昨年は九州北部豪雨により朝倉市を中心に甚大な被害が発生した。災害査定調査の際は、多くの会員に参加頂き感謝している。地元には多くの企業があるため、毎年行っている福岡市担当部局との意見交換の際には、会員企業の優遇措置などを要望している。これからの指名回数や受注金額の増加に期待したい。今後も

続いて、福岡市議会議員の今林ひであき氏の乾杯の音頭で祝宴がスタート、新年の門出を祝うとともに、一年の飛躍を誓った。